



帯 企 画 第 1 8 号
平成30年 5 月 30日

帯広市総合計画策定審議会

会 長 金 山 紀 久 様

帯 広 市 長 米 沢 則 寿
(政 策 推 進 部 企 画 課)



新しい総合計画の策定について（諮問）

帯広市は昭和34年に全国の自治体に先駆けて「帯広市総合計画」を策定して以来、六期にわたり総合計画に基づくまちづくりをすすめて、十勝の中核都市として発展してまいりました。

人口減少、少子高齢化の急速な進行に伴い、地域経済の縮小や、社会保障費の増加等に伴う財政の硬直化などが懸念される中、これまでの右肩上がりの時代とは異なる、複雑・多様な課題への対応が求められてくるものと考えられます。

こうした時代においては、市民と行政がまちづくりの目標を共有し、ともに知恵を出し合いながら、自らの意思と責任に基づき、効率的で持続可能な活力あるまちづくりを進めていかなければなりません。

このため、帯広市総合計画策定審議会条例第2条の規定に基づき、新しい総合計画の策定について、諮問をいたしますので、ご審議のうえ、ご提言をいただきますようお願いいたします。